

みずほCustomer Desk Report 2019/01/07号(As of 2019/01/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.73
TKY 9:00AM	107.86	1.1391	122.94	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.59	1.1419	123.85	1.2626	0.7006
SYD-NY Low	107.52	1.1347	122.60	1.2744	0.7125
NY 5:00 PM	108.55	1.1397	123.67	1.2616	0.6994
				1.2717	0.7117
NY DOW	23,433.16	746.94	日本2年債	-0.1800	▲4.00bp
NASDAQ	6,738.86	275.35	日本10年債	-0.0400	▲4.00bp
S&P	2,531.94	84.05	米国2年債	2.50	11.93
日経平均	19,561.96	▲452.81	米国5年債	2.50	14.62
TOPIX	1,471.16	▲22.93	米国10年債	2.67	11.60
シカゴ日経先物	19,480.00	▲520.00	独10年債	0.2050	5.45bp
ロンドンFT	6,837.42	144.76	英10年債	1.27	8.25
DAX	10,767.69	351.03	豪10年債	2.2250	4.05bp
ハンセン指数	25,626.03	561.67	USDJPY 1M Vol	8.85	▲1.08%
上海総合	2,514.87	50.51	USDJPY 3M Vol	8.65	▲0.70%
NY金	1,285.80	▲9.00	USDJPY 6M Vol	8.60	▲0.50%
WTI	47.96	0.87	USDJPY 1M 25RR	-1.80	Yen Call Over
CRB指数	173.35	1.80	EURJPY 3M Vol	9.34	▲0.77%
ドルインデックス	96.18	▲0.13	EURJPY 6M Vol	9.43	▲0.60%

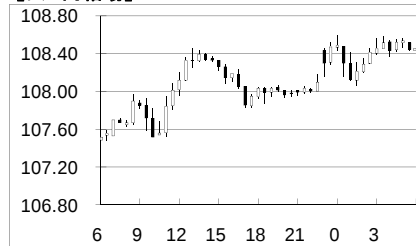
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月4日	10:45	中 Caixinサービス業PMI	12月 53.9	53.0
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 312K	184K
	22:30	米 失業率	12月 3.9%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.4%/3.2%	0.3%/3.0%
	23:45	米 マークイットサービス業PMI-確報	12月 54.4	53.4
1月5日	00:15	米 パウエルFRB議長「当局は辛抱強くなり、柔軟に政策を進める用意」		

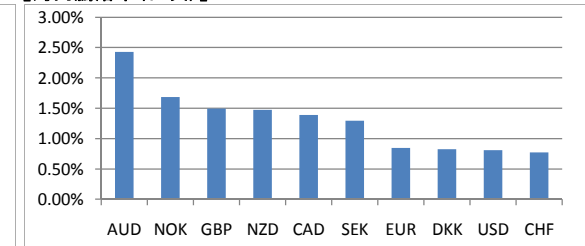
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月7日	16:00	独 製造業受注(前月比)	11月 -0.1%	0.3%
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	11月 0.2%/0.4%	0.3%/1.7%
1月8日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	12月 59.0	60.7
	02:40	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.80	1.1350-1.1450	123.00-124.00

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場のドル円相場は上昇した。発表された米12月雇用統計は非農業部門雇用者数・平均時給が予想を上回ったほか、パウエルFRB議長からハト派的な発言が出て株式市場が続伸したことも、相場をサポートした。本日は上値重い展開を予想。先週末のパウエルFRB議長の発言から米国が「利上げを行うに耐えうる良好な経済環境」とは言えないことをFRB議長自らが認めたと捉えられる。発言を受けて一旦はドル売りで反応したドル円は、米株上昇にサポートされて反発。本日は日経平均株価も2万円台回復が視野に入中で株高の流れが継続してドル円上昇が続く可能性はある。しかし、米利上げスピードの鈍化を警戒したドル売りや、年初から104円台まで大きく円高が進行した後で言えば水準としては4円程度戻していることから本邦輸出企業によるドル売りも想定され、上値は抑えられると想定する。

東京	東京時間のドル円は107.86レベルでオープン。前日の米株の下落を受け、日経平均株価が一時的に700円超下落すると、ドル円も107円台半ば迄下落。その後は、米中が貿易協議を今月7-8日に開催するとの報道や、中国側が米国の要求に応じる姿勢を見せているとの報道を受け、米中対立の過度な懸念が後退し、ドル円は108円台前半まで上昇。その後は方向感に欠ける値動きが続き、108.15レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	108.15レベルでオープン後、107.83まで売られたが、その後は中国人民銀行が預金準備率を2段階で合計1%引き下げると発表したため中国景気減速不安が少し和らいだことや欧州株が買い戻されたことを受け、下値は支えられ、108.01レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.2633レベルでオープン。12月サービス部門PMIが51.22(予想50.7、前回50.8)に上昇していたことや全般的なUSD売りにポンドドルは1.2695まで買い戻され、1.2670レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	7日(月)に米中貿易協議が始まることになったことから期待感から海外市場で108.45まで戻したドル円は、その後は米雇用統計結果発表を控え108円丁度付近での様子見が強まり、108.01レベルでNYオープン。NY朝方は、強い米雇用統計を受けてドル円は再び108.45まで戻す。その後は、利食い売りに108.16まで反落するが、米長期金利の上昇と共に108.59まで戻す。パウエルFRB議長のインタビューは、景気に対しては楽観的と取れる発言をする一方、「Fedは市場のリスク懸念を注意しており、柔軟な政策を取る準備をしている」との発言を受け、利下げを期待する向きにドル売りが優勢となり、108.06まで反落。NY午後には週末を控え閑散な取引の中、株式市場が昨日の下げ以上に上昇する展開に円売りが強まり、108.58まで上昇し、108.55レベルでクロス。ユーロドルは、1.1406レベルでNYオープン。NY朝方は米雇用統計結果を受けたドル買いに1.1347まで下落。その後は前述のパウエル議長の発言を受けたドル売りに1.1418まで戻す。NY午後には1.14丁度付近での推移が続き、1.1397レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・田家